

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 2024年 3月 30日

事業所名 こどもプラス宇都宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		・常に適切であると感じる	
	2	職員の配置数は適切である	9		・当日の利用人数に応じて適切な職員配置をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1	・伝わりやすいよう写真やマークで示している。 ・同線を考えつつ構造化を行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		・定期的に会議を行い情報共有し、話し合い改善に努めている。会議以外でもささいなことでも情報共有し、予防や改善に努めている。 ・話し合い、試行錯誤している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		・毎年行い、会議等の議題に上げ改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		・毎年ホームページにて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1	・外部の活動評価の機会があり、結果を踏まえて改善を行っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・研修の機会を設けて質の向上に努めている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		・毎月のケース会議を行い検討し、保護者のニーズや本人の意向を反映しながら課題の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		・状況把握をしつつ適応行動についてツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		・活動内容やイベント内容が偏らないよう全スタッフで検討・立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		・月によって変えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			・平時は効率的な内容を中心に行い、休日には、季節に沿った内容を心掛けている。 ・長期休暇は昼食注文など家庭での労働負担を考えた支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9		・利用児の状況に合わせて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		・注意点等を共有し支援にあたっている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		・全員での打ち合わせは難しいが、気付いた点等は全員に共有できるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		・毎日記録をつけ支援に繋げている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9		・しっかりと行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9		・療育活動のほかに保護者対応も含め、支援を考え行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		・中心となる職員が代表として参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9		・保護者や学校とその都度、情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9		・園や通所先・保護者等を含めて支援についての意見の交換や情報の共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		・事例がまだないが進んで行いたいと思っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	・研修等の機会があれば積極的に受講している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	3	・公園等の外活動で触れ合う機会が多い。	・地域イベントに積極的に参加できる機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	8		・地域との連携を通してより良い支援に役立っていききたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・お迎え時やLINEや連絡帳を通して細目に保護者と連絡を取り共通理解に努めている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9		・希望があった保護者に対して面談時等、ペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	・保護者に対してさらに活用してもらえよう日頃から助言等を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		・利用契約時に十分に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・送迎時や電話、LINE、面談等でその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		・ニーズに合わせた情報提供の場を開いていきたいと努力している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		・苦情等があった際はスタッフが共有し意見を出し合いつつ、早急に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・毎月プラスだよりを発行し活動内容や様子等を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	9		・流出等がないよう厳重に管理には徹底している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		・対話を大切に力を入れている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		9	・難しい部分もあるが、積極的に行いたいと思う。	・地域住民を招いての行事等はできていないが地域に事業所を知ってもらうための取り組み等に努めていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で内容等を定期的に確認している。 ・緊急時の対応について契約時に周知している。 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行い非常時に備えている。 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修参加や定期的な会議を行っている。 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時等で身体拘束についての説明を十分に行いご理解を得ている。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ購入時・準備時・提供時に十分注意し提供している。 ・アレルギー児には専用皿を使用し、提供間違いを防止している。 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度共有しまとめている。 	